

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-506407(P2005-506407A)

【公表日】平成17年3月3日(2005.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2005-009

【出願番号】特願2003-536336(P2003-536336)

【国際特許分類】

C 0 9 D 17/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 17/00

B 4 1 M 5/00 E

C 0 9 D 11/00

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月11日(2005.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項22

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項22】

前記有機基Bはポリエチレンイミンであり、そして前記有機基Aは置換もしくは非置換芳香族もしくは脂肪族環状無水物である、請求項17記載の分散体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

特に好ましい有機基はアミン含有ポリマー基(有機基B)と環状無水物(有機基A)との反応生成物を含むものである。アミン含有ポリマーが顔料に結合している場合は最も好ましい。アミン含有ポリマーは好ましくはポリエチレンイミン(PEI)、エチレンイミンのオリゴマー(例えば、ペンタエチレンアミン、PEA)又はポリエチレンイミンの誘導体である。無水物は好ましくは置換もしくは無置換芳香族もしくは脂肪族の環状無水物であり、特に、無水コハク酸である。